



平成 25 年 11 月 5 日

各 位

会社名 青山商事株式会社
代表者名 代表取締役社長 青山 理
兼執行役員社長
(コード番号 8219 東証第一部)
問合せ先 専務取締役 宮武真人
兼専務執行役員
(TEL 084-920-0050)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 25 年 5 月 10 日に公表いたしました業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 個別業績予想数値の修正

平成 26 年 3 月期 第 2 四半期累計期間 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成 25 年 5 月 10 日)	73,200	2,700	3,700	2,000	32 円 43 銭
今回修正予想(B)	71,552	2,765	4,170	2,418	39 円 77 銭
増減額(B-A)	△1,648	65	470	418	—
増減率(%)	△2.3	2.4	12.7	20.9	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期)	72,033	3,468	3,397	1,867	30 円 10 銭

平成 26 年 3 月期 通期 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 25 年 5 月 10 日)	182,900	20,300	22,000	13,000	210 円 79 銭
今回修正予想(B)	182,200	20,300	22,400	13,400	220 円 40 銭
増減額(B-A)	△700	0	400	400	—
増減率(%)	△0.4	0.0	1.8	3.1	—
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 3 月期)	178,503	20,025	23,735	12,657	205 円 24 銭

2. 連結業績予想数値の修正

平成 26 年 3 月期 第 2 四半期累計期間（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成 25 年 5 月 10 日)	91,500	3,200	4,000	1,900	30 円 81 銭
今回修正予想(B)	89,568	3,635	4,611	2,475	40 円 72 銭
増減額(B-A)	△1,932	435	611	575	—
増減率(%)	△2.1	13.6	15.3	30.3	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期)	88,925	3,964	3,551	1,823	29 円 38 銭

平成 26 年 3 月期 通期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 25 年 5 月 10 日)	220,000	21,500	22,900	13,100	212 円 41 銭
今回修正予想(B)	218,700	21,900	23,500	13,500	222 円 4 銭
増減額(B-A)	△1,300	400	600	400	—
増減率(%)	△0.6	1.9	2.6	3.1	—
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 3 月期)	212,400	21,267	24,635	12,621	204 円 66 銭

3. 修正の理由

《第 2 四半期累計期間》

<個別業績予想>

(1) 売上高

中核事業でありますスーツ事業において、スーツやクールビズ商品の売上増加を図るための施策を実施してまいりました。しかしながら、スーツなどが低調に推移したことなどにより、既存店売上高が前年同期比 97.7%と、前回予想（前年同期比 100.0%）を下回ったことなどから、売上高が前回予想を下回る見込みであります。

(2) 営業利益

売上総利益率の改善、経費削減努力等により、営業利益は 27 億 65 百万円と前回予想を上回る見込みであります。

(3) 経常利益、四半期純利益

「包括的長期為替予約契約（クーポンスワップ契約）」等に係るデリバティブ評価益が 4 億 63 百万円と、前回予想のデリバティブ評価益 3 億円を上回る見込みであることなどから、経常利益、四半期純利益につきましても前回予想を上回る見込みであります。

<連結業績予想>

(1) 売上高

個別が前回予想を下回る見込みであることなどから、連結につきましても前回予想を下回る見込みであります。

(2) 営業利益、経常利益、四半期純利益

個別が前回予想を上回る見込みであることなどから、連結につきましても前回予想を上回る見込みであります。

《通期》

＜個別業績予想＞

スーツ事業につきましては、下期も引き続き一都三県を中心とした着実な出店、移転等を実施し、マーケットシェア拡大を図るとともに、「洋服の青山」において創業 50 周年の記念セールを開催するなど、積極的に売上増加施策を実施してまいります。こうしたことなどから、下期のスーツ事業の既存店売上高は前年同期比 101.0%と前回予想（前年同期比 100.0%）を上回る見込みであり、通期では前年同期比 99.7%となる見込みであります。

通期の営業利益につきましては、下期の経費が販売費を中心に前回予想を上回る見込みであることなどから、203 億円と前回予想通りとなる見込みであります。

経常利益及び当期純利益は、平成 26 年 3 月末の為替相場、日米金利差が平成 25 年 9 月末と不変であるとの前提のもと、デリバティブ評価益が 7 億 10 百万円と予想され、前回予想のデリバティブ評価益 5 億 90 百万円を上回る見込みであることなどから、前回予想を若干上回る見込みであります。

＜連結業績予想＞

個別の通期業績予想が上記のとおりであることなどから、通期の連結業績予想は、売上高 2,187 億円、営業利益 219 億円、経常利益 235 億円、当期純利益 135 億円と予想しております。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上